

20241026 に考えたこと

☆ブログの見た目をシンプルにするのはもちろん、ブログをやるというのが、メタ的にもシンプルな行為であってほしい感じがするので、それについて少し考えたこと。

① あくまで、時々の日記の繰り返しによって記録ができているという感覚

「はい、これが完成形です。」みたいなものだけを外に出す態度では、記録の意味がなく、ページから時間軸や時々温度感が感じられない。完成形だけを目指してごちゃごちゃやるよりも、思うままに、いいなと思ったものを残して、それが時間をかけて自分の好みの全体像を作っていく、というほうが絶対にいいと思う。

② 読み返さないような構造になってはいけない

「そこに記録が存在するなら一定価値はある。」というのは確かに一理あるけど、ブログに自分の生活のあれこれを集約してそこから抽象的な納得感を得るだけなのは何か物足りない。やっぱり過去の自分の今の自分の連続性や変化をちゃんと感じたいし、年を取ってからでも読み返しうる構造にしたい。細かすぎず粗すぎずの、3分ほどで一か月を総覧する日記スタイルに決めて、あとは中身を見やすく。

③ 「メモ」のコンテンツにも軸を持たせる

①と同様、日記以外のものも、ただの情報や音楽や写真の羅列ではなく、それぞれの切り口での、形を変えた日記なのだという意気込みで残していく。見通しやすさに注意して、時間軸が通っているページにする。

④ ブログが良くなるためには、生活をうまくやらないといけない

自意識がブログと近づくのは一定以上の余裕があるときで、眠すぎたりストレスがたまりすぎていたらシンプルで質のあるブログが続きようもない。ちゃんとする。

⑤ ラジオ

ラジオをやりたい。自分の中でブログの全体感が確かにあっても、ちゃんと説明しないと、見る人がいた場合に理解されない。テキストだけで人が人の興味を引くのにはハードルがある。

「インターネット等と折り合いをつけてシンプルに色々やる」というのがブログのテーマの一つでもあるので、伝える意味と幅を広げる意味のどちらにおいても、いつかラジオをやりたい。